

令和 6 年度指定管理者制度導入施設の管理運営業務の年度評価 評価基準表

施 設 名	豊中市市民ホール等
所 管 部 (局) 課	都市活力部魅力文化創造課
指 定 管 理 者	JCD・日本管財・大阪共立グループ

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
1	基本姿勢	管理運営の基本的な考え方が、法令等をふまえ、公共の利益の増進に合致したものであるか 施設の性格、設置目的及び市の施策等を的確に把握し考慮した管理運営であったか。また、市と積極的に連携・協力し、市政運営の一翼を担っていたか	令和5年度に引き続き、令和6年度も施設の性格や設置目的に基づいて公平・公正な管理運営が継続して行われた。市と指定管理者で毎月定例会議を行い、管理運営等について意見交換し、市からの指摘や意見を現場従業員に伝達及び周知する体制を整えている。	B
2	事業計画	「人材育成・ボランティア組織コーディネート事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか 「鑑賞事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか 「貸館事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか 「情報提供事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	人材育成・ボランティアコーディネート事業について、地元演奏家と市民コーディネーターの育成を目的とし、令和元年より本格始動した「とよなかARTS ワゴン」は新たに5期生を迎えた。年間を通して育成・普及・鑑賞型のプログラムを相互に連携させており、文化芸術領域の第一線で活躍する実務者を講師に招いた「アートマネジメント講座」や新規参加3校を迎え過去最多となる14校でオリジナルの音楽プログラムを実施したほか、市内福祉施設で実施する社会包摂方事業「お茶の間オーケストラ」、地域包摂支援センター管轄の「オレンジカフェ」へのアーティスト派遣を継続して実施する等、受講者やアーティストが自ら学び成長する機会を創出することが出来たと考える。 鑑賞事業については、主要事業である「センチュリー豊中名曲シリーズ」に加えて、豊中市と沖縄市の兄弟都市提携50周年を記念した「琉楽time×ピアノデュオ新崎敬妹」や国際的に注目を集める豊中出身の若手ヴァイオリニスト前田妃奈によるリサイタル等特色ある公演を多数実施し、優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供することに努めた。 貸館事業については、大ホールのみ前年度よりも平均利用率が少し下回る結果となった。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		「相談事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか 「友の会事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか 「広報・宣伝事業」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか 「コミュニケーションロビーの運営」について、実施内容が仕様書・事業計画書に則し、創意工夫が見られるものであったか	が、全館ともに確保すべき水準を維持することができた。今年度はローズ文化ホールが大規模改修を経てリニューアルオープンした。 情報提供事業について、館内のチラシラックやソーシャルメディアによる広報活動のほか、情報誌・催事情報カレンダーの作成をする等多様なメディアを活用した情報発信に努めた。 相談事業については、相談・見学会を毎月実施し、個別の対応件数も対応している。対応件数としては、前年度と同数程度の件数であった。 友の会事業については、確保すべきサービス水準を下回る結果となった。原因の一つとして、興行性の高く全国的に集客力のある公演が年間プログラムに含まれていなかったことが考えられる。一方で既存会員の7割が次年度の更新を済ませており一定の定着率は維持できていると考える。今後、顧客の趣向やニーズの多様化に対応できる取り組みに期待したい。広報・宣伝事業については施設ホームページや情報誌や施設パンフレット等による情報発信のほか、今年度で3年目となった京都芸術大学による効果測定調査を始めとした独自の工夫が見受けられた。コミュニケーションロビーについては、前年度に続いて、安定した運営がなされている。年間来客者数は増加しており経営面でも安定的に推移している。また、子供食堂も前年度同様の推移で提供ができており、地域貢献につながっている。	
3	確保すべきサービス水準	文芸センター大ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100) 文芸センター中ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；74.2% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。 最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；86.3% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		文芸センター小ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；100% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		ローズ文化ホールの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；100% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		伝統芸能館の年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；85% 確保すべきサービス水準値；70% 実績値；79.9% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		市民ギャラリーの年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；91.1% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		文化芸術センター展示室の年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；83.6% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		文化芸術センター多目的室の年間平均利用率 (%) (年間利用率＝一年度分の利用日数／一年度間の利用可能日数×100)	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；60% 実績値；89.9% 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
		文芸センター、ローズ文化ホールの年間来場者数合計（人）	最高評価サービス水準値；500,000 人 確保すべきサービス水準値；410,000 人 実績値；522,283 人 最高評価サービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		4 ホール（文芸センター大ホール、中ホール、小ホール、ローズ文化ホール）で実施する事業の 1 事業あたりの平均参加率（参加率＝1 事業の来場者数（チケット販売数）/ホールの客席×100）	最高評価サービス水準値；75% 確保すべきサービス水準値；50% 実績値；57.7% 確保すべきサービス水準値を達成することが出来た点を評価する。	
		友の会の会員数	最高評価サービス水準値；1,500 人 確保すべきサービス水準値；1,000 人 実績値；710 人 確保すべきサービス水準値を下回る結果となった。	
4	施設効用の発揮	当該施設の管理運営を担うのに相応しい人員を配置し、職員の質の向上を図る方針や計画を遂行しているか 安心安全な維持管理、公平公正な使用承認の判断といった施設運営等、管理運営が適切に行えているか	市と連携した事業展開を行うなど、市政運営の一翼を担っている。 令和6年度中に体制の変更があった。これまで積みあげてきた事業内容を引継ぎつつも、新しい視点によって、より安定した施設運営及び事業推進の強化に期待する。	B
5	財務健全性	貸借対照表は健全か 損益計算書は健全か 資金保有（期末残高）は健全か （当該事業の）収支状況・収支計画は適切か	1 社に関しては前期末に多額の損失を計上しているが、繰越欠損金が当期において全額解消しており、純資産を毀損するほどでもないため財務健全性に問題はない。残り 2 社に関しても財政状況は良好であり、経営の安全性を欠くような所見までは認められない。	B

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
6	市民満足度への配慮	利用者への接客対応は適切か。また、サービスの向上が図られているか	利用者アンケートでは、施設利用満足度における項目で、大変満足と満足を含わせると、文化芸術センターは80.4%（前年度91.6%、前々年度92.1%）、ローズ文化ホールは92.9%（前年度88.1%、前々年度89.3%）、伝統芸能館82.6%（前年度95.3%、前々年度80.0%）、市民ギャラリー94.3%（前年度94.3%、前々年度91.4%）となっており、各施設ともに高評価となっている。	B
		地域の市民や団体、近隣公共施設等と連携（協働）し、施設の効用を発揮させているか		
7	従業者への配慮	福利厚生や労働安全衛生に係る制度が充実しているか	概ね良好である。 ただし、時間外の取り扱いについて、外部委員からの意見をふまえ、対応を進めていただきたい。	B
		勤務時間、休暇制度等が法令に適合するとともに、職員の健康や仕事と生活の調和に配慮したものになっているか		
		その他、労働関係法令を遵守しているか		
8	危機管理体制	情報管理・個人情報の保護の重要性について理解し、個人情報の漏えい、不正利用を防止するために整えた体制が堅固であるか	職員へ個人情報保護などについて、オンライン研修やテストを実施するなどしている。	B
		緊急事態発生等への危機管理に対する体制が堅固であるか。また、防災訓練の実施内容がさまざまな事象を想定した実践的なものであったか	定期的に各館ごとに消防訓練等を行い、緊急事態が発生したときに備えて準備ができており、大きな事故なく運営されている。	

	評価項目	評価ポイント	所管部局コメント	評価
9	その他	「自由提案」とした事業を事業計画書に則し、積極的に実施したか、また事業内容が施設の設置目的を踏まえた創意工夫が見られたか	とよなか ARTS ワゴンを中心とした小学校へのアウトリーチに特に力を入れており、市内小学校 14 校で全 82 回実施した。 また、鑑賞事業においては、「センチュリー豊中名曲シリーズ」や「にほんのうた」等、豊中独自の定番プログラムを実施しただけでなく、「こどものアートの日 2025」では、ワークショップ等の体験・参加型イベントを開催した。豊中市社会福祉協議会等とのアート作品展示を行い、多様なジャンルの芸術に触れる機会を創出しており、今後のさらなる成果に期待したい。	B
	総合評価		令和 6 年度は、新型コロナウイルスの影響を受ける前の施設運営への回復をさせていくとともに、さらなる管理運営業務サービスの水準の維持向上に努められていた。 文化芸術事業の取組では、前年に続き「千里考今物語」を実施し、市民と共に地域の魅力を新たな視点で掘り起こし発信する取組み事例として市内外から注目を集めた。また、「とよなか ARTS ワゴン」では事業の充実を図り、市内の小学校 14 校でアウトリーチ事業「ふれアート」を展開し過去最多の実施校数となったことについても大きく評価したい。 貸館においても、非常に高い稼働率を達成し、市民ギャラリーにおいては「オープンギャラリー」等のこれまで利用のなかった層の方に来場いただける機会創出に取り組み、前年度比の 3 倍以上の来場者を達成した。 一方で、友の会事業は昨年度から減少傾向にあるため、課題が残る結果となった。今後、顧客の趣向やニーズの多様化に対応できる取組みについて検討していく必要がある。	B

(評価の基準)

- A ; 優れた管理運営状況である
 B ; 問題のない管理運営状況である
 C ; 改善を要する管理運営状況である